

# 主要施策の成果



# 平成21年度主要施策の成果（一般会計）

## 議会費関係

### 1 議会開催日数

定例会	4回	会期日数	24日
臨時会	4回	会期日数	4日

### 2 付議事件数

町長提出	102件				
・条例	32件	・予算	33件	・決算	10件
・その他	19件	・専決・報告	8件		
議員提出	43件				
・条例	3件	・その他	40件		

### 3 請願・陳情

受理件数	9件
------	----

### 4 一般質問の人数

6月	7人	9月	7人		
12月	8人	3月	8人	計	30人

### 5 委員会

議会運営委員会	10回	（議会運営 他）	
常任委員会	11回		
・総務企画常任委員会	（付託事件審査、所管事務調査 他）	5回	
・教育民生常任委員会	（ " " ）	3回	
・産業建設常任委員会	（ " " ）	3回	
広報特別委員会	13回	（議会だより編集 他、「議会だより第15～18号」発行）	

○地域振興策に係る調査特別委員会 5回（地域振興策調査研究）

### 6 議員派遣

行政調査

・滋賀県愛荘町 外 平成21年11月16日～18日

## 議員研修

- 町村議会議長・副議長・委員長等研修会（宇都宮市） 平成21年7月7日
- 町村議会議員研修会（宇都宮市） 平成21年10月27日

## 総務費関係

### 1 人事関係（一般職員）

#### (1) 職員数の状況

	平成21.3.31現在	平成22.3.31現在
一般職員	222人	219人
技能労務職	24人	21人
計	246人	240人

(注)年度末退職者を除いた人数

#### (2) 新規採用及び退職数の状況

	新規採用者	退職者
一般職員	8人	11人
技能労務職	-	3人
計	8人	14人

### 2 那珂川町自治功労者表彰

自治功労者表彰 3名

### 3 地方自治功労叙勲

#### 叙勲

大金進氏 (瑞宝双光章) 元馬頭中学校長、元馬頭町教育長

本多勝美氏 (旭日双光章) 元栃木県議会議員、元馬頭町議会議員

#### ○高齢者叙勲

荒井勝明氏 (旭日単光章) 元馬頭町議会議員

### 4 定額給付金給付事業【繰越明許】

住民への生活支援を行うとともに、地域の経済対策に資することを目的に定額給付金を給付しました。

○給付実績 6,108件 305,020千円

## 5 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

### (1)交通安全対策

○「那珂川町交通事故抑止対策町民集い」の開催

・平成21年 9月 4日 馬頭山村開発センター

### (2)交通指導員の設置

教育指導員 1名

一般指導員 7名

### (3)交通安全教育の実施

幼稚園・保育園児童対象 101回 3,570人

小中学校児童生徒対象 22回 1,011人

母親対象 11回 380人

高齢者対象 39回 1,027人

### (4)交通安全施設の整備

カーブミラー 6基

ガードレール 22m

区画線 1,430m

### (5)安全で安心なまちづくり

自主防犯団体の活動

・役場防犯パトロール隊：火曜日、金曜日の午後にパトロールを実施

・馬頭商工会青年部防犯隊：営業時間中にあわせて防犯活動を実施

## 6 交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、町営バス・コミュニティバスの運行内容の充実に努めた。

路線名	運行開始	年間利用客数(人)			1日平均乗車数(人)			
		H21年度	H20年度	対前年度	H21年度	H20年度	対前年度	
町 営 バ ス	馬頭大那地線	平成元年6月	10,300	14,208	3,908	35.0	48.0	13.0
	馬頭大山田線	平成2年6月	11,686	12,070	384	39.7	40.8	1.1
	馬頭小砂小口線	平成3年11月	7,110	6,712	398	24.2	22.7	1.5
	馬頭矢又富山線	平成6年4月	4,438	3,807	631	15.1	12.9	2.2
	馬頭谷川盛泉線	平成8年4月	5,260	8,821	3,561	17.9	29.8	11.9
5路線計			38,794	45,618	6,824	132.0	154.1	22.1

コミュニティバス	幼稚園経由北廻り線	平成16年4月	6,126	5,201	925	25.1	21.1	4.0
	芳井線	平成16年4月	7,226	5,583	1,643	19.9	15.3	4.6
	浄法寺線	平成16年4月	402	561	159	1.1	1.5	0.4
	幼稚園経由南廻り線	平成16年4月	6,517	7,601	1,084	26.7	30.8	4.1
	小梨線	平成16年4月	6,469	6,564	95	17.8	18.0	0.2
	小川南線	平成16年4月	1,031	1,028	3	2.8	2.8	0.0
	6路線計			27,771	26,538	1,233	93.4	89.5

(注)運行日数

町営バス ・ H21 : 294日 ・ H20 : 296日

コミュニティバス

・ H21 : 364日 ただし、幼稚園経由北廻り線・幼稚園経由南廻り線は244日

・ H20 : 365日 ただし、幼稚園経由北廻り線・幼稚園経由南廻り線は247日

## 7 企画調整・地域振興

### (1) 会議等の開催

町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、課長会議を9回開催した。また、調整担当者会議を3回開催した。

### (2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる那珂川町総合振興計画に基づき、重点事務事業などの各種事業の進行管理を行った。

### (3) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎地域自立促進特別措置法により策定した過疎地域自立促進計画後期計画（平成17年度～21年度）に基づき、各種事業の進行管理を行った。

### (4) 情報システムの総合管理

情報資産を様々な脅威から保護することと、情報資産の機密性、安全性及び可用性を確保していくために那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

### (5) 学官連携の取組み

学校法人宇都宮美術学院宇都宮メディア・アーツ専門学校との相互友好協力協定に基づき、次の事業を行った。

- ・ 「スポッ！と那珂川町」 10分番組3編作成
- ・ 馬頭温泉郷案内看板更新デザイン協力
- ・ マイバックプリントデザインの補作
- ・ 橋脚ペイント

### (6) まちづくり3大重点プロジェクト

#### 「行財政改革」推進プロジェクト

那珂川町行財政改革大綱（平成17年度～22年度）及び具体的な取組項目をま

とめた行財政改革推進計画（平成18年度～22年度）に基づき、行財政改革の推進を図った。

### 「自然・環境との共生」推進プロジェクト

那珂川町環境基本計画に基づき、環境のまちづくり推進事業を実施した。

- 環境基本計画概要版作成 6, 000部
- 環境のまちづくり説明会 19会場 390人
- 環境のまちづくり推進会議 委員30人 3回  
自然環境部会、生活環境部会、資源エネルギー部会、環境学習部会 各1回
- オリジナルマイバック作成  
プリントデザイン募集 応募数：50点（39人）  
1月12日に行政区長・班長を通じて各世帯に配布
- バイオマス利活用に関する基礎調査  
バイオマス資源の種類や量の把握  
生ゴミ分別モデル事業の実施  
実施期間：12月7日～28日 7回  
実施地区：新町(馬頭)、緑町(小川)の74戸と給食センター
- 広報啓発活動  
広報なかがわに「家庭でできるエコライフ」を掲載（5月号～翌年3月号）

### 「地域高度情報化」推進プロジェクト

地地域情報化基本計画に基づき、情報通信基盤の有効な利活用法を図るため、ケーブルテレビアプリケーション計画を策定した。

#### (7) 土地利用調整

那珂川町土地利用調整基本計画に基づき、適正な土地利用の誘導を行った。

#### (8) 協働によるまちづくり推進事業

協働のまちづくり推進計画

公募委員を含む計画策定委員会において、協働のまちづくりの理念や町がおこなうべき施策をまとめた、「協働のまちづくり推進計画」を策定した。

#### ○地域住民との協働によるまちづくり推進事業補助金

「地域住民が主役となる社会」、「地域住民が協働する社会」、「地域が自立する社会」を目指して、5つのまちづくり団体に対して補助金を交付した。

- とみやまの郷づくり会 150千円
- ボランティア盛谷協議会 300千円
- 和見村おこし協議会 150千円
- 小川商工会 332千円
- ふれあいの舎利用組合 180千円

## (9) 定住促進団地整備事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
定住促進団地整備事業	「高手の里」整備	34,335	

## (10) 提案型補助金制度の創設

創意と工夫による住民本位のまちづくりを推進するため、提案型補助金制度を創設し、11件の提案を採択した。

## 8 広報・広聴

### (1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

広報なかがわ(毎月10日発行) 6,000部/月

### (2) 那珂川町公式ホームページの運営

「行政情報」、「観光と文化」、「公共施設」、「町のデータ」の4つの柱をメインに、町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。また、ホームページのリニューアルに伴い導入したCMSを活用し、迅速で正確な情報の掲載に努めた。

### (3) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

#### 学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼稚園の設置状況(児童生徒数、教諭の配置状況など)を調査した。

#### 経済センサス(基礎調査)

7月1日を基準日として、町内38調査区の商工業の事業所(1,068事業所)を対象に、従業者数、業務内容、売上高等を調査した。

#### 国勢調査準備(調査区設定等)

平成22年10月1日を基準日として実施される調査に先立ち、調査区の設定(128調査区)等を実施した。

#### ○工業統計調査

毎年12月31日を基準日として、町内40調査区の製造業者の事業所(100事業所中、従業員数4人以上の57事業所を対象)の従業員数、売上高、製造品種などの状況を調査した。



## 農林業センサス

2月1日を基準日として、町内116調査区の農林業経営体（2,806客体候補中、耕作面積30a以上等の要件を満たした1,509客体が対象）の農業従事者数、耕作面積、作付作物、売上高などの状況を調査した。

### (4)行政事務連絡等

行政区長・班長等を委嘱し、事務執行の協力を得た。

行政区長 37人 行政班長 196人

### (5)情報公開等

#### ○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町長	2	2	-	-
教育委員会	-	-	-	-

#### ○個人情報保護の運用状況

個人情報保護条例の開示請求はなかった。

## 9 税務

### (1)町税等収入状況

#### ①町税

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
町民税	981,613,746	902,097,558	1,286,235	78,229,953	91.90
(1)個人	773,801,446	698,752,458	607,235	74,441,753	90.30
現年課税分	708,732,600	686,590,447	147,119	21,995,034	96.88
滞納繰越分	65,068,846	12,162,011	460,116	52,446,719	18.69
(2)法人	207,812,300	203,345,100	679,000	3,788,200	97.85
現年課税分	203,660,200	202,344,600	-	1,315,600	99.35
滞納繰越分	4,152,100	1,000,500	679,000	2,472,600	24.10
固定資産税	1,535,028,679	969,809,501	317,659,157	247,560,021	63.18
(1)固定資産税	1,529,336,379	964,117,201	317,659,157	247,560,021	63.04
現年課税分	982,765,300	885,881,810	-	96,883,490	90.14
滞納繰越分	546,571,079	78,235,391	317,659,157	150,676,531	14.31
(2)交付金	5,692,300	5,692,300	-	-	100.00
軽自動車税	45,171,980	40,452,971	31,400	4,687,609	89.55
現年課税分	40,847,300	39,692,300	-	1,155,000	97.17
滞納繰越分	4,324,680	760,671	31,400	3,532,609	17.59
町たばこ税	118,143,770	118,143,770	-	-	100.00

特別土地保有税	11,209,358	288,133	4,482,467	6,438,758	2.57
現年課税分	-	-	-	-	-
滞納繰越分	11,209,358	288,133	4,482,467	6,438,758	2.57
入湯税	18,304,790	18,247,860	-	56,930	99.69
現年課税分	18,270,760	18,213,830	-	56,930	99.69
滞納繰越分	34,030	34,030	-	-	100.00
町税合計	2,709,472,323	2,049,039,793	323,459,259	336,973,271	75.63
現年課税分	2,078,112,230	1,956,559,057	147,119	121,406,054	94.15
滞納繰越分	631,360,093	92,480,736	323,312,140	215,567,217	14.65

②国民健康保険税

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	689,613,337	462,745,263	2,211,900	224,656,174	67.10
(1)特別徴収	37,977,800	37,767,600	-	210,200	99.45
(2)普通徴収	651,635,537	424,977,663	2,211,900	224,445,974	65.22
現年課税分	432,624,611	383,651,821	93,600	48,879,190	88.68
滞納繰越分	219,010,926	41,325,842	2,118,300	175,566,784	18.87

③介護保険料

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
介護保険料	187,050,805	183,677,332	59,732	3,313,741	98.20
(1)特別徴収	173,263,200	173,263,200	-	-	100.00
(2)普通徴収	13,787,605	10,414,132	59,732	3,313,741	75.53
現年課税分	10,854,200	9,716,800	-	1,137,400	89.52
滞納繰越分	2,933,405	697,332	59,732	2,176,341	23.77

④後期高齢者医療保険料

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
後期高齢者医療保険料	86,842,500	85,779,800	-	1,062,700	98.78
(1)特別徴収	66,833,500	66,868,600	-	35,100	100.05
(2)普通徴収	20,009,000	18,911,200	-	1,097,800	94.51
現年課税分	19,022,700	18,416,700	-	606,000	96.81
滞納繰越分	986,300	494,500	-	491,800	50.14

特別徴収還付未済額：35,100円

(2)徴収嘱託員収納実績

徴収嘱託員 2人

収納額 73,739,442円

(3)税務関係証明等

件数 3,168件

手数料 913,730円

## 10 戸籍・住民

住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出の正確且つ迅速な処理を行い、住民票や印鑑証明等の証明発行事務のスピードアップに努めた。戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

戸籍届出等件数 1, 147件 (届出624件・送付523件)

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

証明等発行件数	戸籍関係	9, 028件
	住民票	8, 943件
	印鑑証明	7, 235件
	その他	1, 177件

## 11 選挙

那珂川町農業委員会委員選挙	平成21年 6月28日執行	無投票
衆議院議員総選挙	平成21年 8月30日執行	投票率：64.72%
○那珂川町長選挙	平成21年11月 1日執行	投票率：65.61%

## 12 監査委員

### (1) 例月出納検査の実施

4月から毎月実施 計12日

### (2) 決算審査

一般会計及び特別会計の審査期間	平成21年7月21日～7月30日
水道事業の審査日	平成21年7月10日
意見書提出日	平成21年8月11日

### (3) 定期監査

一般会計及び特別会計の監査期間	平成22年2月4日～2月12日
水道事業の監査日	平成22年2月12日
監査結果報告書提出日	平成22年2月24日

### (4) 財政援助団体等補助監査

那珂川交通安全協会・那珂川町結婚相談所・ 那珂川町たばこ税確保対策協議会	平成21年10月20日
那須南農業協同組合・馬頭土地改良区・ 姉妹都市交流協力委員会	平成21年11月20日
那珂川町夏まつり実行委員会・商品券発行事業推進委員会・ 馬頭温泉保護開発協会	平成21年12月21日
監査結果報告書提出日	平成22年1月21日

## (5) 財産区特別会計決算審査

馬頭・武茂・大内・大山田財産区審査  
意見書提出日

平成21年7月22日  
平成21年8月11日

## 民生費関係

### 1 福祉団体等への支援

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化のため、福祉団体等の育成・支援を実施した。

○民生委員児童委員への支援	50名	3,909千円
○社会福祉協議会への支援		
・社会福祉協議会運営費補助金		35,310千円
・社会福祉協議会事業費補助金		3,000千円

### 2 障害者福祉

障害者の自立更生を推進するため、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

また、障害者施設の事業運営安定化のため、障害者自立支援特別対策事業を実施した。

補装具給付及び修理	40件	2,277千円
自立支援(更生)医療	63人	4,983千円
重度心身障害者医療費助成	299人・5,703件	29,641千円
特定疾患患者見舞金	96人	3,138千円
障害者福祉サービス事業	98人	156,280千円
○障害者地域生活支援事業	144人	37,885千円
○障害者自立支援特別対策事業		
・事業運営安定化事業		421千円
・移行時運営安定化事業		169千円
・新事業移行促進事業		33千円
・事務処理安定化支援事業		310千円

### 3 高齢福祉

高齢者の生きがいつくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

居室事業	2人	2,711千円
敬老会	19会場・1,682人	6,896千円
敬老祝金	470人	3,875千円
(80歳:230人、85歳:160人、90歳:51人、95歳:26人、100歳:3人)		
緊急通報システム装置の貸付(H22.3.31現在)	51件	1,152千円
ねたきり老人等寝具洗濯サービス事業	36人	243千円
軽度生活援助事業	8人	136千円
老人福祉施設入所措置(H22.3.31現在)	養護18人	43,667千円
○馬頭総合福祉センター管理運営	施設利用者11,208人	19,291千円
○小川総合福祉センター管理運営	施設利用者39,925人	23,607千円
シルバー人材センター運営補助		4,900千円
○老人クラブ等社会活動推進事業(補助金)		2,550千円
○老人日常生活用具給付事業	1人	4千円

#### 4 国民年金

公的年金(国民年金)の必要性を十分に周知させるため、年金だよりの発行や「広報なかがわ」への掲載等により普及推進を図った。また年金相談所を開設し、国民年金制度のPRに努めた。

国民年金被保険者数 4,298(1号:3,371人、3号:927人 H22.3月現在)

#### 5 児童福祉

##### (1) 保育園の運営

町立保育園(7か所)を運営し、施設設備の充実を図るとともに措置児童の保育を行った。また、保育所再編整備計画に基づき、小川地区統合保育所を建設した。

児童数 270人 98,093千円

(3歳未満児85人、3歳児61人、4歳以上児124人)

○小川地区統合保育所建設事業 349千円

〃 【繰越明許費】 365,430千円

##### (2) 児童館の運営

児童館を運営し、生活上の遊び方などの行事を実施し、児童の健全育成に努めた。

利用者数 6,185人 2,408千円

##### (3) 放課後児童クラブの運営

下校後、保護者等が家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。また、対象児童を小学3年生から、小学6年生に拡充した。

放課後児童クラブ運営事業 2箇所 46人 7,624千円

#### (4) 児童手当の支給

小学校修了前の児童を養育している方に対し、手当を次のとおり支給した。

被用者児童手当	延児童数	2,162人	21,620千円
非被用者児童手当	〃	1,349人	13,490千円
特例給付	〃	28人	280千円
被用者小学校修了前特例給付	〃	9,673人	55,385千円
非被用者小学校修了前特例給付	〃	5,144人	30,250千円
小学校修了前特例給付	〃	188人	1,040千円

#### (5) 要保護児童対策

要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見と適切な対応に努めた。  
また、児童及び保護者を対象に「子どもの人権教育」を開催し、児童虐待の防止と、将来における虐待の連鎖を防止するよう努めた。

○実務担当者会議	11回	
子どもの人権教育「CAPなす」	14回	208人

#### (6) 子育て応援特別手当支給事業【繰越明許】

多子世帯の子育て負担に対する配慮として、小学校就学前3年間に属する第二子以降の児童について、子育て応援特別手当を支給しました。

支給実績	213件	7,668千円
------	------	---------

### 6 母子・父子福祉

母子家庭や父子家庭に対して、遺児手当を支給し、制度の周知徹底に努めた。

また、ひとり親世帯・小学校3年生修了前までのこども・妊産婦に対して医療費の助成を行い、対象者の健康増進及び福祉の向上に努めた。

遺児手当	6人	150千円
ひとり親家庭医療費助成	430人 2,014件	4,565千円
こども医療費助成	966人 12,411件	19,538千円
妊産婦医療費助成	106人 432件	1,837千円

## 衛生費関係

### 1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は最重要課題であり、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と、町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を実施した。

### (1)健康づくり推進事業

日常生活の多様化に伴い増加する生活習慣病をライフスタイル改善で計画的に実践できるよう支援した。

メンバーズらくらく運動倶楽部	30回	471人
栄養改善及び健康増進	29回	619人
カトレア会	12回	226人
その他		
・「広報なかがわ」による啓発活動(こころの健康づくり)		12回
・「福祉まつり」での食育普及及び啓発活動	1回	100人
・「福祉まつり」での体組成測定	1回	85人

### (2)成人病予防対策事業

青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に、健康増進法に基づき、総合的な保健事業を実施した。

また、国の施策である「女性特有のがん検診推進事業」により、女性のがん検診の自己負担金を無料とし、受診率の向上を図った。

病態別栄養相談	8回	18人
訪問指導	随時	109人
基本健康診査(20～39歳)	25回	424人
胃がん検診	25回	1,769人
子宮がん検診(集団検診)	12回	1,292人
(うち、女性特有のがん検診推進事業受診者	57人)	
子宮がん検診(個別検診)	9～2月	35人
(女性特有のがん検診推進事業)		
乳がん検診	12回	1,341人
(うち、女性特有のがん検診推進事業受診者	172人)	
大腸がん検診	25回	2,342人
肺がん検診	25回	2,477人
前立腺がん検診	14回	857人
肝炎ウィルス検診	25回	46人
○骨粗しょう症検診	12回	211人
歯周疾患検診	7～9月	46人
精神保健相談会	12回	34人
○生活習慣病予防教室「なかがわフィットネス倶楽部」	22回	396人

### (3)母子保健対策事業

母子の一貫した健康管理を目指し、母子保健法に基づく健康教育・相談及び各種

健診を実施した。また、成長過程におけるさまざまな課題に対して、関係機関と連携をとりながら、児の健やかな成長を促しことを目的とした発達障害児支援事業を実施した。

新生児訪問（こんにちは赤ちゃん事業）	随時	120人
○母子手帳の交付	随時	92人
乳児健診（4か月・8か月）	12回	218人
1歳児相談	6回	116人
1歳6か月児健診	6回	110人
2歳児相談	6回	96人
3歳児健診	6回	93人
3歳児精密健康診査	随時	9人
虫歯予防教室（フッ素塗布）	18回	568人
妊産婦一般健康診査	随時	1,289人
ひよこクラブ	20回	900人
おかあさん塾	9回	279人
○のびのび発達相談	10回	111人
乳幼児発達相談	11回	45人
○みかん教室（早期教育相談グループ教室）	10回	35人
○発達障害児事例検討会、研修会	3回	53人

#### (4) 不妊治療費助成事業

保険が適用されない高額な不妊治療に対し、経費の一部を助成する不妊治療助成事業を実施した。

○不妊治療費助成事業	随時	2人
------------	----	----

#### (5) 結核及び伝染病予防対策事業

結核及び各種伝染病の発病予防及び患者の早期発見を図るため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。

結核	BCG接種	105人
予防接種	・ポリオ	219人
	・麻しん・風しん混合	516人
	・二種混合	181人
	・三種混合	404人
	・インフルエンザ	4,165人

#### (6) へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

対象地区：大内・大那地・小砂	18回	延107人
----------------	-----	-------



## 2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

### (1) 廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

#### ○廃棄物内訳

・可燃ごみ	4, 074 t	資源ごみ内訳 ・スチール缶 53 t ・アルミ缶 7 t ・ペットボトル 44 t ・びん類 186 t ・紙類 422 t ・布類 82 t
・不燃ごみ	304 t	
・資源ごみ	794 t	
・粗大ごみ	103 t	
・有害ごみ	7 t	

#### ○搬入内訳

・委託業者収集搬入	4, 408 t
・直接搬入	874 t

### (2) 畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

○登録	96頭
○予防注射	885頭
野犬・不用犬(猫)引取り	49(4)頭

### (3) 合併処理浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、合併処理浄化槽設置に対し補助を行った。

合併処理浄化槽設置整備補助金	60件	22, 544千円
----------------	-----	-----------

## 3 公園墓地・小川墓地

公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

## 4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

### (1) 河川等の水質検査の実施 (37ヶ所)

### (2) 騒音、悪臭等の防止対策

### (3) 不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

### (4) 北沢地区不法投棄物処理対策

県と連携して、最終処分場に関し、理解を深めるための先進地視察、不法投棄物

による周辺環境への汚染拡大を未然に防止するための説明会を実施した。

○最終処分場先進地視察

- ・埼玉県環境整備センター（埼玉県寄居町） 3回 51人
- ・エコフロンティアかさま（茨城県笠間市） 2回 75人

未然防止対策説明会

- ・小口（梅平地区）、小口全域、和見、小砂 4回 86人
- ・県説明会及び北沢フォーラム 1回 46人

## 農 林 水 産 業 費 関 係

### 1 農業委員会

農業委員会法に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を行った。

(1) 農地法に係る権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

- 農地法3条（農地等の権利異動） 41件 132筆 14.58ha
- 農地法4条（自己農地の転用） 5件 6筆 0.55ha
- 農地法5条（転用のための設定・移転） 14件 14筆 1.06ha

(2) 遊休農地対策では、遊休農地調査の一環として、継続的に区分ごとの面積を集計するとともに各農業者の意向調査等を実施した。また、遊休農地の解消に向け、関係機関等を連携し、菜種・ヘアリーベッチの作付促進と、試験的にマコモタケを作付けし、調査・検討等を行った。

(3) JAと連携し、農業者年金制度の普及及び加入推進を行った。

(4) 関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び農業青色申告制度の普及を推進した。

### 2 農業振興事業

農業振興については、中山間地域等直接支払交付事業、農地・水・環境保全向上対策事業、農業担い手の育成などを中心に事業を行った。

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業 急傾斜地 14集落 緩傾斜地 56集落	26,962	

農地・水・環境保全向上対策事業	農地水環境保全の良好な保全と質的向上の共同作業 取組集落 8 集落	3,992	総事業費15,342
使用済農業生産資材適正処理推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬袋等の処理	402	総事業費1,735
食育体験実践事業	農業・料理体験を通じて食育の推進（8 小学校）	400	
とちぎの集落営農確立支援事業	集落営農組織の育成	183	総事業費1,173
町単生産調整推進対策事業	麦・大豆等作付拡大への助成	450	

### 3 畜産振興事業

J A 那須南和牛部会、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留事業、家畜伝染病の予防対策事業、畜産団体補助事業	4,648	
畜産担い手育成総合整備事業		3,536	繰越明許分

### 4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、農道整備、かんがい排水事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
県単農業農村整備事業	坏地区施設機能維持回復事業 測量設計一式、頭首工一式	12,000	
	東戸田地区施設機能維持回復事業 測量設計一式、頭首工一式	1,530	総事業費1,700
	薬利地区かんがい排水施設整備事業 測量設計一式、水路整備L=179.3m	3,240	総事業費3,600
農地有効利用支援事業	小川土地改良区 柳林地区取水口改修工事 外14	4,200	総事業費12,000
	馬頭土地改良区 小口サイフォン改修工事 外7	2,520	総事業費7,200
土地改良施設維持管理適正化事業	馬頭土地改良区 北向田第1揚水機場ポンプ改修	370	総事業費3,700
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	33,314	
町単農村振興事業	矢又台地区農道整備事業	500	総事業費1,229

## 5 中山間地域総合整備事業

中山間地域の農業生産基盤、生活環境整備のため、集落道整備を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
南部地区中山間地域総合整備事業	仲組地区集落道整備事業 改良・舗装 L=111.3m	10,600	
	前山押野地区集落道整備事業 改良・舗装 L=1,491.0m	74,300	内線越明許分 32,900

## 6 イノシシ肉加工事業

イノシシ肉処理加工施設を運営し、獣害の軽減及び特産品生産による地域の活性化を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工事業	受入頭数 137頭 (町内93、町外44)	6,215	シシ肉販売収入 4,778

## 7 林業振興事業

松くい虫防除事業により森林病虫害の防除に努めるとともに、林道の維持管理及び作業道の整備により、間伐等森林整備を推進した。また、八溝産材の需要拡大を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
松くい虫防除事業	地上散布 3.1ha	305	
	衛生伐 36.0m <sup>3</sup>	1,000	
森林整備地域活動支援交付事業	施業実施区域の明確化及び歩道の整備等 8 協定 1,688ha	8,439	
	森林の被害状況等調査 7 協定 1,000ha	10,000	
元気な森づくり推進市町村交付金事業	里山の整備 3 箇所 10.3ha	7,403	
	里山の管理 5 箇所 21.9ha	1,071	
林道維持管理事業	滝ヶ沢線 堆積土除去 1.3m <sup>3</sup>	97	
	城間線 舗装修繕 L=6.9m	58	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助12件	3,207	
町単農村振興事業	矢又仲坪地区作業道整備事業	300	総事業費600

## 林業施設利用状況

施設名	利用者数	備考
森林公園特産品生産施設	3,955人	
森林公園緑の展示館	1,187人	
観光乗馬施設(ホースランド)	799人	
県産材利用宿泊施設(ペンションひろせ)	653人	
緑の交流館	293人	

## 商工費関係

### 1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、緊急景気対策事業、及び合併協議会等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

#### (1) 商工会の支援

馬頭商工会	経営改善普及事業費補助金等	9,142千円
○小川商工会	経営改善普及事業費補助金等	5,862千円
○馬頭商工会・小川商工会	合併事業費補助金	1,400千円

#### (2) 緊急景気対策事業

緊急景気対策事業費(商品券発行)補助金	7,500千円
---------------------	---------

#### (3) 中小企業振興資金融資状況

新規貸付件数	56件	178,260千円
信用保証料補助額	56件	2,703千円
特定中小企業者認定	5号	74件
	6号	33件

#### (4) 地域資源活用の支援

○那珂川町里山温泉トラフグ研究会補助金	300千円
---------------------	-------

### 2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝、及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

(1) 観光関連団体への補助

那珂川町夏まつり実行委員会	4,000千円
小川地区山車保存会	300千円
馬頭町観光協会	6,300千円
小川観光協会	1,260千円
○馬頭町観光協会・小川観光協会合併事業	700千円
馬頭温泉保護開発協会	900千円

(2) 主な観光施設の利用状況（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村	2,006人	
町営温泉浴場・定住センター	71,528人	
観光センター	697,214人	推計値
ふるさとの森公園	11,747人	
カタクリ山公園	35,287人	

3 消費者行政

消費者被害拡大防止のため、町ケーブルテレビ等を通じて広報活動を行った。また、多重債務者相談窓口を設置し、相談にあたった。（相談件数10件）

4 開発推進

栃木県工業団地連絡協議会等を通じ、情報収集に努め、企業訪問など誘致活動を行った。また、既存立地企業のフォローアップを行い、企業の定着促進を行った。

## 土木費関係

1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしていることから、地域間の幹線道路や生活道路を整備し、都市間を結ぶ主要幹線道路である国・県道の整備を関係機関に要望した。

（単位：千円）

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
道路改良舗装	大山田立野線	改良・舗装・補償一式 L=1,620m W=5.0m	141,153	うち繰越明許費 16,800

	日向線	改良・補償一式 L=311.4m W=5.0m	17,775	
	三輪片平線	改良・舗装・補償一式 L=145.0m W=7.0m	41,278	
	南平板山線	改良・用地・補償一式 L=124.7m W=5.0m	15,352	
	小梨線	改良・舗装・用地・補償一式 L=239.4m W=7.0m	31,010	
	一渡戸大鳥線	舗装 L=930m W=5.4m 測量一式 L=450m	18,133	
	栃下室町線	改良・舗装・用地・補償一式 L=100m W=16.0m	35,374	
	下馬頭4号線 外	改良・舗装 L=970.2m W=4.7m	13,440	
	永畑川崎線	舗装 L=470m W=7.35m	24,034	
	仲内大内線	舗装 L=2,305m W=5.5m	36,613	
	金谷線	舗装 L=242m W=5.0m 測量・設計一式 L=200m	7,350	
	梅曾上西線	測量一式 L=1,050m	1,134	
	谷田町営住宅線	設計一式	168	

## 2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業(谷川 地区、馬頭 地区、谷田・上ノ原地区)を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 谷川 A=0.09km <sup>2</sup> 馬頭 A=0.24km <sup>2</sup> 谷田・上ノ原 A=0.17km <sup>2</sup>	8,610	
	複製図作成・数値情報化 馬頭、谷川、大山田上郷、谷田・上ノ原	1,115	
	土地改良境界復元 谷田・上ノ原	556	
	素図作成 和見	294	

## 3 都市計画

市街地の景観形成と安全な住環境整備のため街なみ環境整備事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
街なみ環境整備事業	室町小公園整備	17,815	

#### 4 公園

公園は、地域住民に憩いと安らぎを提供し、景観の形成に大きく寄与しているため、適正な施設の管理、環境の美化を推進し、住民から親しまれ、利用しやすい公園の整備管理に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
馬頭公園整備事業	遊歩道整備 L=104m W=1.5m	3,601	
	照明設置 5基	661	

#### 5 住宅

町営・町有住宅の適正な維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
町営古館住宅屋根防水工事	1号棟屋根防水 A=262m <sup>2</sup>	3,150	
町営谷田住宅浄化槽設置工事	浄化槽112人槽	32,928	
町営愛宕住宅解体工事	解体一式 4棟	3,360	
雇用促進住宅購入事業	2棟 60戸	53,552	

## 消 防 費 関 係

#### 1 火災の概況

平成21年度中の那珂川町における出動件数は6件で、前年度に比較して3件の増であった。

主な火災

発生日	場 所 等
5月10日	谷川地内 林野火災(杉・竹混合林)
10月12日	矢又地内 その他の火災(原野)
10月13日	松野地内 その他の火災(原野)
1月10日	三輪地内 建物火災(住宅)
1月24日	久那瀬地内 その他の火災(芝、立木)
2月20日	小砂地内 その他の火災(原野)



## 2 消防施設等の整備

防災行政無線（移動系）	• 本部長	一式
	• 中継局	一式
	• 車載用無線機	37台
	• 車載携帯兼用無線機	2台
	• 携帯無線機	35台

## 3 消防団点検・訓練関係

### ○点検

10月25日 那珂川町消防団通常点検 出場率：75.68%

# 教育費関係

## 1 学校教育

### (1) 小学校・中学校

県教育委員会の教育施策を踏まえ、人間尊重の精神を基盤として、豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。特に地域に根ざした調和と特色ある教育行政を課題とし、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図った。

また、適正規模での児童の健全な教育環境を整備するため、馬頭地区東部3小学校を統合した。なお、教育環境の充実と教育施設・教材備品の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

小学校児童通学費補助	1,951千円
小学校教育用コンピュータ機器借上	8,016千円
小学校教材備品費	7,199千円
小学校就学援助費	3,519千円
総合学習推進費	880千円
○中学校生徒通学費補助	1,050千円
中学校教育用コンピュータ機器借上	5,052千円
中学校教材備品費	4,977千円
中学校就学援助費	2,624千円
外国語指導助手設置費	3,139千円
○スクールバス運転業務	15,104千円
学校ICT環境整備事業	16,790千円

東部3小学校統合準備費	25,825千円
那珂川町小学校施設耐震診断業務	9,870千円
○馬頭小学校PC教室空調設備設置工事	3,570千円
大内小学校屋根塗装工事	2,730千円
小川小学校ブランコ設置工事	1,554千円
小川地区3小学校校長室空調設備設置工事	2,730千円
小川南小学校屋根防水改修工事	3,255千円
馬頭中学校受変電設備改修工事	13,545千円
〃 図書室空調設備設置工事	3,255千円
小川中学校屋内体育館改築工事	83,362千円
〃 屋内体育館改築工事設計業務	11,340千円
〃 校舎耐震補強工事	16,884千円
〃 校舎耐震補強工事設計業務	4,725千円
〃 地質調査業務	1,365千円
〃 プール解体工事	8,557千円
〃 太陽光発電設備設置工事	19,320千円
〃 受変電設備改修工事	10,552千円
〃 図書室・校長室空調設備設置工事	5,145千円
〃 防球ネット設置工事	2,572千円

## (2) 幼稚園

幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、家庭では体験できない社会・文化・自然などの体験を十分にさせながら、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った幼児を育てることに努力した。また、幼児教育の向上を図るため、教育内容の改善、施設設備の整備と教育環境の充実を図った。

### ○ひばり幼稚園

園児数 79名（3歳児26名、4歳児21名、5歳児32名）

### ○小川幼稚園

園児数 60名（3歳児19名、4歳児21名、5歳児20名）

## (3) 学校給食センター

学校給食法の趣旨を踏まえ、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

また、学校給食を活用した食育の推進に努めた。

給食実施状況

- ・小学校8校、中学校2校、幼稚園2園、児童生徒職員数1,834人

- 完全給食 給食実施回数 193回（うち米飯 114回）

給食実施総食数 326, 820食

（幼稚園は、5月より週3日の完全給食（水・木・金）、4月と月・火は牛乳のみの給食を実施。）

## 2 社会教育

生涯学習社会へ適切に対応するための条件整備と町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境づくりの形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたつて社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成をねらいに学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民の活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努め、さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を高めることをねらいに地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

### (1) 生涯学習

行政と住民が一体となって生涯学習を推進するため、行政、地域、民間団体等で学習・地域活動の連携、協力のあり方について検討を行った。

また、生涯学習の啓発・普及を図り、理解を深めるため「なかがわ町民大学」を実施した。

### (2) 青少年教育

青少年の社会参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進した。さらに、青少年団体の育成と活動の推進を図るために研修会、交流事業の開催に努めた。

ジュニアボランティアズクラブの育成・指導

青少年育成協会の育成・指導

○成人式の開催

### (3) 成人教育

家庭教育学級、幼児家庭教育学級を開設し、家庭教育の重要性について理解を深め、加えて家庭での実践を促すために親学習プログラムを開催した。

### (4) 高齢者教育

高齢者を対象に「シルバー大学」を開設し、集団による学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

### (5) 公民館活動

家庭生活の知識、技術の習得をねらいに、すくすくクラブ、放送利用講座を開催した。さらに、親子わくわく塾を開催し、体験活動を通して親子のふれあいの機会

を設けることに努めた。

また、小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

○利用件数 601件 利用人数 6,212人

#### (6)国際交流活動

国際交流事業として、青少年海外体験派遣事業、ホームステイウィークエンド事業、ホースヘッズ村交流事業等を実施した。

#### (7)芸術文化活動

文化祭の開催や文化団体の育成に努めた。また、大内小・谷川小・大山田小の児童を対象に、巡回演劇公園（劇団らくりん座）を実施した。

- 芸術文化の振興
- 文化財保護事業
- 子どもの森の管理

#### (8)美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

##### ○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入 館 者 数(人)
4月17日～5月17日	特別展 日本の四季「名所江戸百景展」(前期)	3,814
5月21日～6月21日	特別展 日本の四季「名所江戸百景展」(後期)	3,284
6月26日～8月2日	秋山庄太郎写真展「遊写三昧 花-365日」	3,242
8月6日～9月13日	浮世絵に描かれた動物たち展	4,158
9月18日～10月18日	特別展 江戸のMODE 浮世絵美人の総合ファッションガイド(前期)	3,383
10月23日～11月23日	特別展 江戸のMODE 浮世絵美人の総合ファッションガイド(後期)	3,996
11月27日～1月11日	国芳が描く木曾路の名所旧跡「木曾街道六十九駅展」	1,927
1月15日～2月21日	浮世絵師と狂歌仲間たち展	1,823
2月25日～4月11日	青木コレクション展 - 近代洋画と日本画を中心に -	2,347
合 計	特別展4回、企画展5回	27,974

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 名	観 覧 者 数(人)
5月12日～5月15日	創作人形展	130
6月1日～6月8日	ペーパークラフト展	70
7月14日～7月20日	第0回秋山庄太郎写真芸術協会展	630
7月31日～8月2日	卒業記念書展	240
8月11日～8月16日	日本之感性 日本之形展	560
10月10日～10月12日	シルバー大学北校美術部展	280
10月24日～10月31日	押し花絵展	519
11月1日～11月8日	卒寿祝個展	420
11月18日～11月23日	「写友 那珂川」写真展	398
11月27日～12月5日	長崎・広島原爆写真展	120
2月16日～2月28日	第5回那珂川町児童生徒版画コンクール入選作品展示	410
3月24日～3月31日	油彩画展	280
合 計	12件	4,057

○調査研究・教育普及活動

- ・江戸のMODE 浮世絵美人の総合ファッションガイド展図録の発刊
- ・春季・秋季特別展 記念講演会 3回 104人参加
- ・ミュージアムトークの開催（各展覧会）
- ・ワークショップの開催 4回 26人参加
- ・第5回那珂川町児童生徒版画コンクール 応募作品数：931点

(9)郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図るため、企画展を開催した。

○古文書講座の開催

○企画展 3回

○年間入館者数 6,823人 開館日数 299日

(10)山村開発センター

住民の各種研修・会議・集会等に利用された。また、行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

○利用件数 485件 利用人数 9,080人

## (11) 図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

図書館奉仕業務の充実

図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

・受入冊数 3, 644冊

視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の充実

調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実

教育・保育機関等への団体貸出の促進

子ども読書活動の推進

国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実

「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進

図書館運営及び活動の調査と研究(図書館協議会)

ボランティア活動(婦人・高校生)の実施と充実

年間利用状況

・登録者数 3, 731人

・図書貸出冊数 77, 153冊

文化事業の開催と文化活動の推進

・お話し会	幼児～小学生対象	42回	631人
・読書会	全町民対象	24回	151人
・ブックスタート	乳幼児・保護者対象	6回	237人
・幼稚園児の図書室利用	年長児及び年中児	30回	623人
・工作教室	幼児～小学生対象	2回	27人
・親子読書教室	幼児・保護者対象	2回	175人
・文芸講演会	幼児・児童・保護者対象	1回	150人
・展示会	全町民対象	3回	667人
・教養講座	全町民対象	1回	20人

## (12) なす風土記の丘資料館管理運営受託事業

史跡・資料等の適切な保存を図り、これらを広く県内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てていきたいと考え、小川館・湯津上館ごとのテーマに沿った関係資料の収蔵・展示を行うほか、各種展示会や体験講座などを開催した。

○展示会関係

会 期	展 示 会 名	場 所	入館者数(人)
4月11日～ 6月28日	第18回特別展 「茂木町の遺跡」	湯 津 上 館	3 , 3 5 4
7月11日～ 8月30日	なつ！風土記 「縄文人の生活を知ろう」	小 川 館	2 , 0 0 3
9月19日～ 11月23日	第17回企画展 「那須の横穴墓」	湯 津 上 館	1 , 1 0 8
12月 5日～ 1月31日	冬休み小中学生向け展示会 「寅を考古学する」	小 川 館	1 , 1 6 4
2月 6日～ 3月22日	平成21年度巡回展 「栃木の遺跡 - 最近の発掘調査の成果から - 」	小 川 館	2 , 2 0 4

○展示会関連行事

実 施 日	行 事 名	場 所	参加者数(人)
4月26日	特別展記念講演会	小川館	51
4月26日	特別展ギャラリートーク	湯津上館	31
6月14日	春の史跡見学会	福島県方面	51
7月11・12日	考古学教室 「展示体験」	小川館	5
7月26日	縄文土器づくり	小川館	38
8月 9日	考古学教室 「これできみも考古学者」	小川館	16
8月23日	縄文土器焼成	小川館	67
9月20日	企画展オープニングイベント 玉づくり	小川館	21
10月11日	秋の史跡見学会	茨城県方面	46
10月25日	企画展記念講演会・シンポジウム	ふるさと館	61
10月25日	企画展ギャラリートーク	湯津上館	33
11月 8日	なすの横穴墓めぐり	なす風土記の丘周辺	26
12月 6日	古代文字講座	小川館	16
12月20日	ミニ門松づくり	小川館	11
2月21日	成果発表会・遺跡発表会	小川館	118

○普及啓発活動

出前授業として県内各所から依頼を受け、講義を10回、体験教室を10回実施したほか、この地域の歴史を学び展示解説等の補助として活かす歴史解説員養成講座を全11回行った。

### 3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

#### (1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

施設名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体 育 施 設	総合体育館	332	36	9,677
	馬頭西体育館	270	13	3,536
	小川体育館	244	13	19,858
	健武体育館	123	12	1,402
	武茂体育館	135	8	1,465
	馬頭武道館	238	3	2,496
	小川武道館	115	1	662
	小川弓道場	25	1	168
	馬頭運動場	258	21	26,741
	武茂運動場	181	3	4,844
	大山田下郷運動場	199	5	4,017
	小川運動場	335	23	13,087
	小川庭球場	327	11	3,226
	馬頭水泳プール	38	-	1,615
	小川水泳プール	37	-	1,589
合 計	2,857	150	94,383	
(うち 夜間 照 明)	馬頭運動場	190	9	5,114
	武茂運動場	181	3	4,844
	大山田下郷運動場	183	4	3,663
	小川運動場	182	9	8,197
	小川庭球場	258	6	2,890
	大内小運動場	104	3	3,029
	小川南小運動場	258	3	7,069
	合 計	1,356	37	34,806



学 校 施 設	馬頭小学校	校庭	2	1	45
		体育館	218	5	3,193
	谷川小学校	校庭	-	-	-
		体育館	37	8	930
	大内小学校	校庭	104	3	3,029
		体育館	44	5	724
	大山田小学校	校庭	-	-	-
		体育館	108	5	1,473
	小川小学校	校庭	48	2	1,056
		体育館	120	1	1,560
	薬利小学校	校庭	51	1	969
		体育館	58	1	873
	小川南小学校	校庭	258	3	7,069
		体育館	61	3	971
	馬頭中学校	校庭	-	-	-
		体育館	42	3	143
	小川中学校	校庭	-	-	-
		体育館	4	3	93
	合 計	校庭	463	10	12,168
		体育館	692	34	9,960

(2) 社会体育活動の推進（各種体育行事の開催状況）

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
町民各種大会 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・登山 ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・バスケットボール ・ソフトボール ・ソフトバレ-ボール ・ゆりがねマラソン大会	33	75	4,055
各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・なすみなみ若鮎駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会	3	3	148

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(22専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(31支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

- スポーツクラブ 91団体 1,286人
- スポーツ少年団 13団体 222人
- 統合型地域スポーツクラブ設立準備委員会の開催 9回

(4) スポーツの普及活動

- スポーツ講習会の開催
- スポーツ傷害保険の加入促進
- スポーツカレンダーの発行

## 災害復旧費関係

### 1 農林水産施設災害復旧事業

平成21年4月・8月の集中豪雨により被害を受けた農林水産施設について災害復旧事業を実施した。

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
農地・農業用施設災害復旧事業 (町単独災害復旧事業分)	農地1件、施設3件	422	総事業費844

# 平成 2 1 年度主要施策の成果（特別会計）

## 国民健康保険事業

保健事業においては、人間ドックなどの事業を通して、生活習慣病の早期発見、早期治療といった被保険者自身の意識の高揚と国保運営の健全化に努めた。

### 1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。

（単位：千円）

区分	項目	件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
一般被保険者	療養の給付	73,809	1,413,799	1,020,647	355,590	37,562
	療養費	1,984	18,222	13,180	4,678	364
	計	75,793	1,432,021	1,033,827	360,268	37,926
退職被保険者等	療養の給付	6,860	114,521	80,075	33,741	705
	療養費	163	1,674	1,172	502	-
	計	7,023	116,195	81,247	34,243	705
合計		82,816	1,548,216	1,115,074	394,511	38,631

### 2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

出産育児一時金	25件	10,110千円
葬祭費	38件	1,900千円
高額療養費	1,785件	127,524千円
・一般	1,715件	120,237千円
・退職	70件	7,287千円

### 3 国保世帯数、被保険者の状況

平均世帯数	3,257世帯
平均被保険者数	6,616人

#### 4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策として、次のとおり実施した。

特定健診	1, 638名
特定保健指導	240名
医療費通知	16, 290通 (6回実施)
人間ドック	213名

### 老人保健事業

老人の適切な医療の確保を図るため老人保健法に基づく医療給付を実施した。

医療給付費	5件	464千円
医療費支給費	1件	17千円

### 後期高齢者医療事業

高齢者の適切な医療費の確保を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療給付を実施した。

○栃木県後期高齢者医療広域連合納付金		131, 032千円
〃	負担金	12, 294千円
○医療給付費負担金		162, 438千円
○平均被保険者数		3, 384名
○健康診査受診者	医療機関健診	919名
	集団健診	420名

### 介護保険事業

第4期介護保険事業計画(H21～23年度)の初年度に当ることから、介護保険制度の更なる周知に努めるとともに、介護予防事業の充実に努めた。

1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、平成21年度末現在5,528人であった。

2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請及び更新は、1,104件であり、これらを調査(一部委託)したのち、認定審査会にて審議され認定した。なお、平成21年度末の認定者数は886人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数(平成21年度末)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	経過 的 要 介 護	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	計
1号被保険者	42	75	-	159	162	167	138	110	853
2号被保険者	-	3	-	7	8	5	6	4	33
計	42	78	-	166	170	172	144	114	886

3 利用及び給付状況

介護給付利用の総件数は23,693件、給付費総額は1,165,744千円で、その内訳は次のとおりである。

居宅介護サービス給付費	8,674件	402,636千円
地域密着型居宅介護サービス給付費	782件	77,957千円
施設介護サービス給付費	2,136件	527,414千円
・介護老人福祉施設	1,344件	319,915千円
・介護老人保健施設	751件	193,278千円
・介護療養型医療施設	41件	14,221千円
居宅介護福祉用具購入費	46件	845千円
居宅介護住宅改修費	21件	2,097千円
居宅介護サービス計画給付費	5,015件	57,374千円
介護予防サービス給付費	668件	17,409千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	10件	655千円
介護予防福祉用具購入費	5件	72千円
介護予防住宅改修費	3件	501千円
介護予防サービス計画給付費	579件	2,439千円
高額介護サービス費	1,849件	18,633千円
特定入所者介護サービス給付費	1,769件	57,712千円

#### 4 地域支援事業

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、以下の事業を実施した。

##### (1) 介護予防特定高齢者施策

要支援・要介護になるおそれの高い者等の把握と介護予防事業（通所型・訪問型）を実施した。

###### 特定高齢者把握事業

生活習慣病検診及び医療機関検診の結果をうて、特定高齢者の把握決定を行った。

- |                         |      |        |
|-------------------------|------|--------|
| ・生活習慣病検診（生活機能実施者、65歳以上） | 25回  | 1,114人 |
| ・医療機関検診                 | 7～9月 | 782人   |

###### 通所型介護予防事業

把握された特定高齢者を対象に、「運動機能の向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」を目的とした介護予防教室を実施した。

- |              |     |      |
|--------------|-----|------|
| ・前期教室        | 15回 | 178人 |
| ・後期教室        | 15回 | 257人 |
| ・転ばん運動教室（継続） | 42回 | 566人 |
| ・運動サロン       | 2回  | 23人  |

###### 訪問型介護予防教室

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある特定高齢者を対象に、専門医による相談会と保健師による訪問を実施し、必要な相談、指導を実施した。

- |             |     |     |
|-------------|-----|-----|
| ・高齢者精神保健相談会 | 12回 | 8人  |
| ・保健師による訪問指導 |     | 33人 |

##### (2) 介護予防一般高齢者施策

一般高齢者を対象として、介護予防に関する知識の普及・啓発と、介護予防ボランティアの育成を行った。

###### 介護予防普及啓発事業

各単位老人クラブや町社会福祉協議会の事業と連携し、転倒予防のための運動指導を実施した。

- |              |     |      |
|--------------|-----|------|
| ・那珂川おたっしや会   | 32回 | 500人 |
| ・ふれ合いいきいきサロン | 8回  | 101人 |

###### 地域介護予防活動支援事業

介護予防ボランティア「ほっとなかがわ」の育成と教室への協力。

- |                           |     |      |
|---------------------------|-----|------|
| ・ボランティア研修会                | 2回  | 20人  |
| ・ボランティア育成強化研修会(自主グループの育成) | 2回  | 26人  |
| ・介護予防教室への協力               | 73回 | 363人 |

(3) 介護予防ケアマネジメント事業

特定高齢者及び要介護認定において要支援1・2となった対象者の介護予防プランの作成を実施した。

特定高齢者介護予防プラン作成 36人

要支援1・2の者の居宅介護予防支援 594件（内委託159件）

(4) 総合相談支援事業

介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談や高齢者虐待に対する相談、指導の実施と介護支援専門員への指導

○介護相談件数 231件

高齢者虐待対応 15件

○権利擁護（成年後見制度等） 4件

○高齢者実態把握 306件

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

事例検討会の開催 12回

(6) 任意事業

地域自立生活支援事業（生活援助員派遣事業）

高齢者等へのホームヘルパー派遣

時間：141時間 委託先：那珂川町社会福祉協議会

家族介護教室

専門医による「認知症の基礎知識」の講話や、精神保健福祉士による対応の仕方の講話、又認知症の方が利用する施設の見学等を実施

開催回数：6回 参加者：89人

○認知症サポーター育成事業

「認知症サポーター講座」を実施し、地域で認知症者を支えるサポーターの育成を図った。

開催回数：3回 参加者：44人

寝たきり老人等介護手当等の支給

・寝たきり老人等介護手当 128人 5,485千円

・おむつ手当 113人 4,800千円

地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び、次年度の活動予定の承認

開催日：平成22年3月26日

## ケーブルテレビ事業

高度情報化通信基盤の整備により、ケーブルテレビ施設の適正な維持管理を行い、町内全域での地上デジタル放送の視聴対応、高速インターネット接続サービス、CS有料放送サービス、IP電話サービス、テレビインターネットなど時代を先取りした情報通信サービスを提供するとともに、各種の自主放送番組の提供や文字放送の充実及び広告放送の推進に努めた。

加入促進については、高齢者世帯や障害者世帯及びひとり暮らしの高齢者などに対して、通信系宅内配線工事費補助金を交付し、加入者の負担軽減を図りながら、戸別訪問を主としたきめ細かな説明や広報誌やホームページでの対応など、新規加入及びオプションサービスの勧誘に努めた。

### ケーブルテレビ施設の管理運営

- 加入者件数 4, 856件 (79.6%)
  - ・インターネット接続サービス 1, 092件
  - ・IP電話サービス 210件
  - ・CS有料放送サービス 223件
  - ・STBレンタルサービス 41件
- 再送信サービス
  - ・地上デジタル放送 9局
  - ・地上アナログ放送 9局
  - ・衛星BSデジタル放送 8局
  - ・FMラジオ放送 4局
- CS有料放送サービス
  - ・ゴルフネットワーク外 34局
- 通信系宅内配線工事費補助金 1, 854千円 (88件)
- 主要な工事
  - ・一般国道293号電線共同溝CATV線敷設工事 13, 650千円
  - ・東電柱移設に伴うCATV線移設工事 3, 434千円
  - ・CATV線等移設工事 8, 851千円
  - ・高度化に伴う引込工事 22, 092千円
- ケーブルテレビ高度化事業竣工式
  - ・日時：平成21年4月25日(土)
  - ・場所：小川総合福祉センターあじさいホール
  - ・案内者：来賓24名、招待者235名



• 式典概要：事業概要

経過報告

町長挨拶

竣工セレモニー

（ ケーブルの接続（町長、各小学校児童代表 8 名）  
ケーブルテレビ紹介  
テレビ I P 電話による記念通話（愛荘町、美郷町） ）

来賓挨拶

記念演奏まほろば子供太鼓

• 記念イベント：とちぎテレビ「歌の王様出張公開予選会」

• ゲスト歌手歌謡ショー

○主な自主制作番組

• ニュースNタウン 収録 9 4 回 放送 1 5 0 時間／月

• Nタウンピックアップ 2 2 回

○生中継番組

• 町議会定例会、臨時会 7 回

• ケーブルテレビ高度化事業竣工式 1 回

• 子供議会 1 回

○企画番組

• 町は今そしてこれから 3 回

• わんぱくざかり 6 回

• 広重美術館へようこそ 9 回

• むかし・昔・大昔 5 回

• 歌の王様予選会 1 回

• 那珂川町再発見 5 回

• 那珂川町フィットネス 7 回

• 農業情報番組 3 回

• スポット那珂川町 1 回

○特別企画番組

• ニュースダイジェスト（上半期、下半期）

• 新春インタビュー（町長、議長、教育長）

○その他の番組

• 県政ピックアップ

• グリーンチャンネル

• NHKエンタープライズ（教養娯楽番組）

• サイエンスチャンネル（THE MAKING 他）

○広告放送

- 文字放送（有料） 24件
- 文字放送（無料） 200件
- 映像放送 5件

## 下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。

馬頭処理区については、供用開始区域の加入促進を図った。

概要については、次のとおりである。

(1) 整備事業（馬頭処理区）

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管渠工事L=783.0m (硬質塩化ビニル管φ150)	51,597	国庫補助金 23,500
	付帯工事、公共ます設置工事	13,844	

(2) 施設管理の状況

項目	単位	馬頭処理区	小川処理区
処理区域面積	ha	93	84
処理区内人口	人	1,720	2,895
処理人口	人	696	2,433
水洗化率	%	40.5	84.0
接続戸数	戸	311	846
年間処理水量	m <sup>3</sup>	98,574	286,079
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	270	784
年間汚泥脱水ケーキ量	t	62.0	269.0

## 農業集落排水事業

農業用用水の水質保全、環境の改善等を図り、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項 目	単位	北 向 田 地 区	三 輪 地 区
処理区域面積	ha	33.0	16.3
処理区内人口	人	469	345
処理人口	人	450	317
水洗化率	%	95.9	91.9
接続戸数	戸	135	90
年間処理水量	m <sup>3</sup>	76,902	29,419
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	210	81
年間汚泥引抜量	m <sup>3</sup>	122	216

## 簡易水道事業

簡易水道事業として設置されている8施設における水道水の安定供給および施設能力の維持管理に万全を期した。なお、国庫補助金及び地域活性化・公共投資臨時交付金等を活用し、配水管布設替、ポンプ交換工事、発電設備設置工事を実施し、老朽設備等を更新した。

### (1) 整備事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費	備 考
谷田地内配水管布設工事	L=564.2mHPPE 100mm	15,855	
薬利地内配水管布設替工事	第1工区L=711.5mDIP 100mm	22,680	
	第2工区L=724.0mDIP 100mm	22,785	
富山取水ポンプ交換工事	水中ポンプ 40mm3.71Kw	2,310	
中部地区発電設備設置工事	停電時発電設備41KVA1基	12,915	
矢又浄水場取水ポンプ交換工事	40mm3.7Kw1基	3,938	
西部・中部地区取水ポンプ等交換工事	40mm3.7Kw1基	5,565	

## (2) 施設管理の状況

項目	小砂地区	富山地区	矢又地区	大那地区	中部地区	北部地区	南部地区	西部地区	計
給水人口 (人)	1,308	358	259	178	3,761	1,148	1,529	248	8,789
給水戸数 (戸)	384	110	81	53	1,362	350	461	68	2,869
年間総配水量 ( $m^3$ )	96,023	29,845	22,346	9,576	445,513	109,259	115,079	21,932	849,573
年間総給水量 ( $m^3$ )	87,193	24,449	18,579	8,507	356,172	92,584	114,115	18,360	719,959
有収率(%)	90.80	81.92	83.14	88.84	79.95	84.74	99.16	83.71	84.74
1日平均配水量 ( $m^3$ )	263	82	61	26	1,221	299	315	60	
1日平均給水量 ( $m^3$ )	239	67	51	23	976	254	313	50	
1人1日当り平均配水量 ( $\ell$ )	201	228	236	147	325	261	206	242	
1人1日当り平均給水量 ( $\ell$ )	183	187	197	131	259	221	204	203	